

～ アドミッションポリシー（求める学生像） ～

1. 人格を尊重し自ら心を開き、他者の意見や助言を聞くとともに思いやり心配りができる。また自分の考えを的確に表現できる。
2. 自分の将来像を描き、志を忘れず、目的意識をもって自主的に意欲をもって学ぶことができる。
3. 健康、病気や障害に関心をもち、すべての人の暮らしに貢献する意欲を持っている。

～ カリキュラムポリシー（教育課程の方針） ～

1. まず科学的思考の基礎として、過去に修得した知識を再学習することから始め、客観的、論理的にデータを分析する思考を身に着ける。また人間と生活を通して尊厳ある自立とその暮らしを学び、人を支える心を育成する。
2. 次に専門分野の基礎いわゆるリハビリテーションを志す学生にとって根幹となる人体の健康と機能および心身の発達を解剖学、生理学、運動学を通して学ぶ。
合わせて疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進、加えて保健医療福祉とリハビリテーションの理念を習得する。

《理学療法学科》

3. 専門分野として、基礎理学療法、理学療法評価学、理学療法治療学、地域理学療法を学ぶ。そして授業、演習、学生相互の実習などを通して学内で学んだ知識

と技術および態度を臨床実習で実践的に経験することで対象者の状態を把握するとともに理学療法士としての心構えを習得する。

《作業療法学科》

3. 専門分野として、基礎作業療法、作業療法評価学、作業療法治療学、地域作業療法学を学ぶ。そして学内で修得した知識や技術および態度と対象者の援助や生活支援の見学・体験を経験した上で臨床実習に臨み総合的理解および実践力を高める。さらに臨床実習を通して今後の進むべき方向を明確にする。

～ ディプロマポリシー（卒業認定の方針） ～

1. 各学年を通して多面的にカリキュラムを履修し基礎的な知識・技術を養うとともにリハビリテーションの担い手として、国家試験に合格しうる学習能力を身につける。
2. 在学期間中の講義、演習、実習での学び、特に臨床習卒業研究を通して、論理的思考力、問題解決力、コミュニケーション能力など総合的に身につける。
3. 自らを律する人間性を常に養い、人を支える姿勢、利他的な意識を持ち、義務と権利を適切に行使し保健医療福祉の発展に寄与できる。